

## (1) 市民アンケート

### ア 実施概要

みどりに関する市民意識を把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

対象者：18歳以上の市民 3,000人

調査期間：令和6年2月6日～令和6年2月29日

回収状況：回答数 971 件

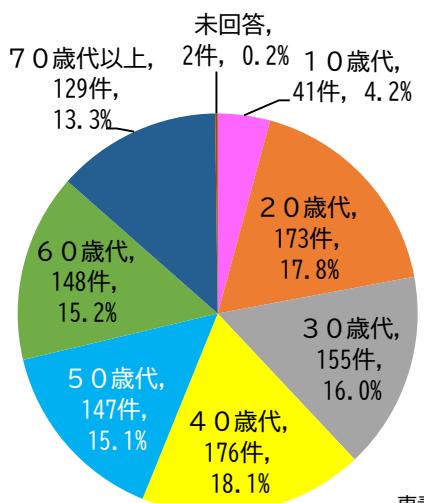
回収率 32.4%

### イ 結果概要

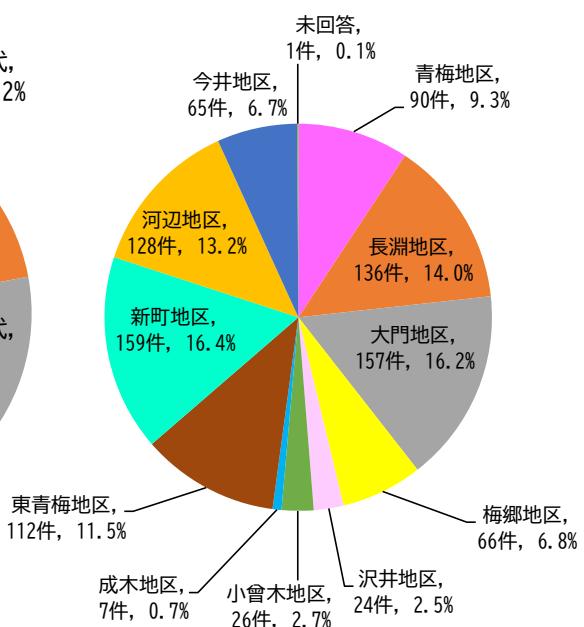
※割合は小数第2位を四捨五入しているため合計値が100%にならない場合があります。

#### 問1 回答者の属性

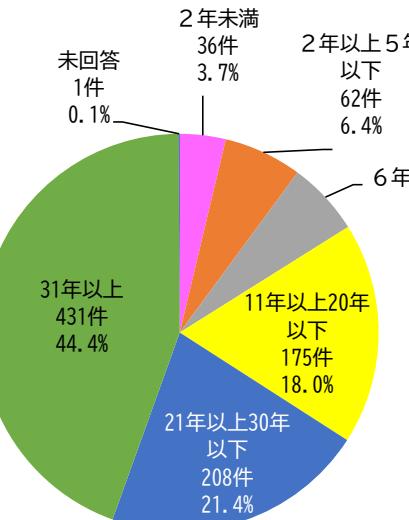
##### 【年代】



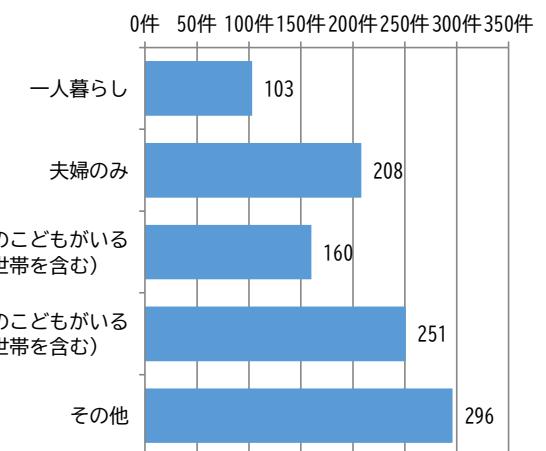
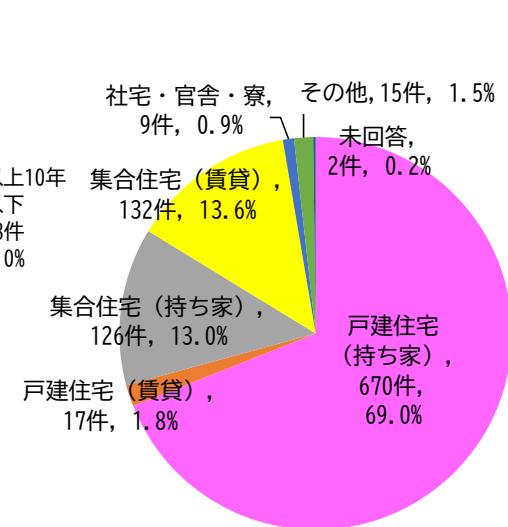
##### 【居住地区】



##### 【居住歴】

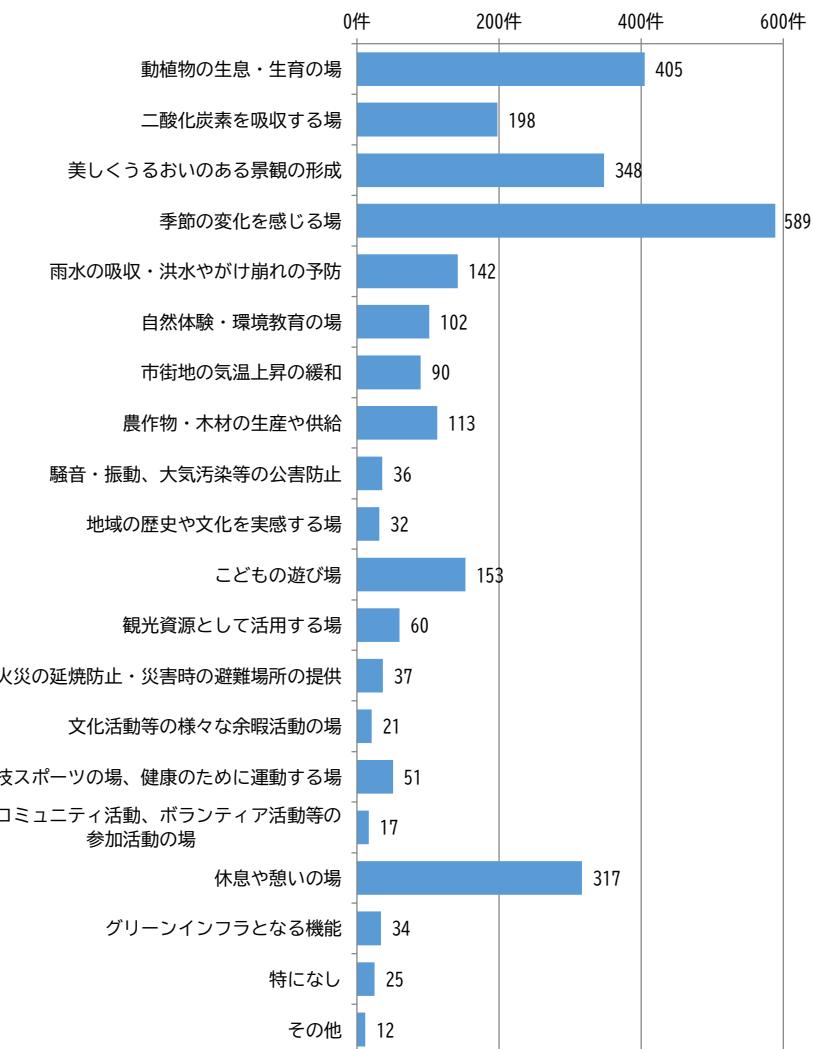


##### 【居住タイプ】



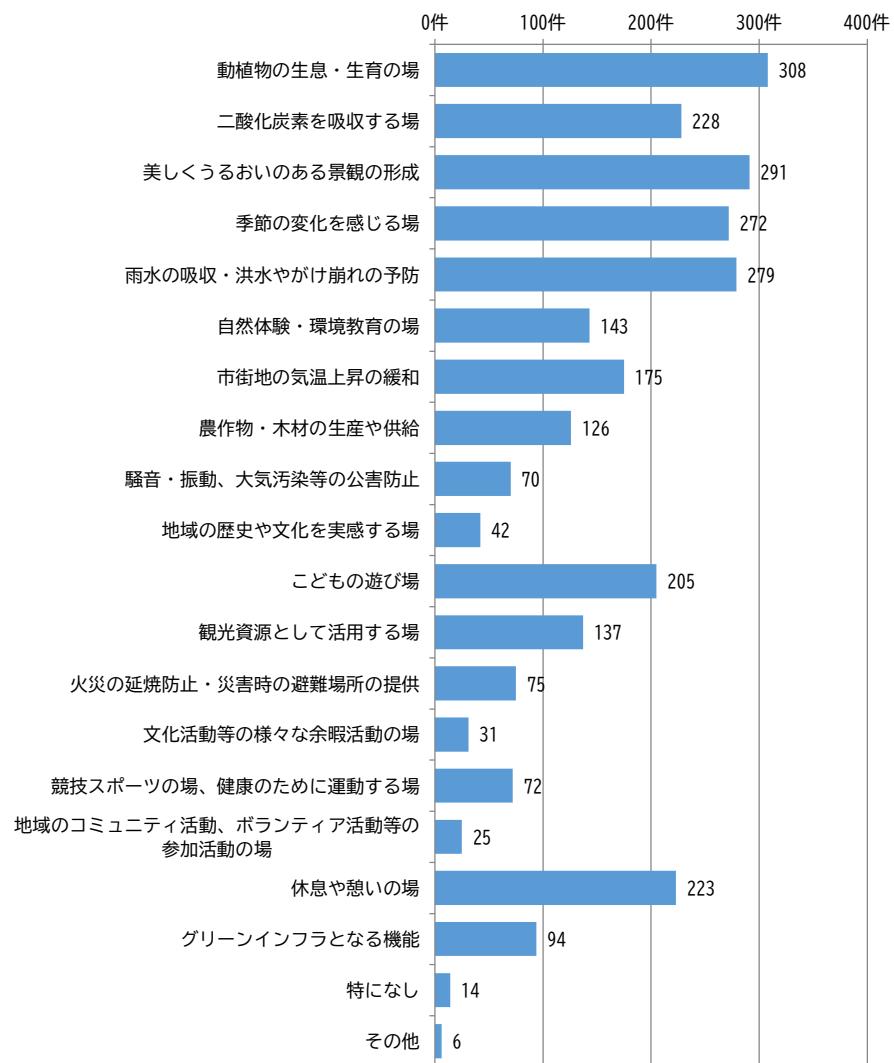
問2 「みどり」には様々な機能がありますが、あなたが日常生活で実感するものは何ですか。（3つまで選択）

最も多い回答が「季節の変化を感じる場」589件、次いで「動植物の生息・生育の場」405件、「美しく潤いのある景観の形成」348件でした。



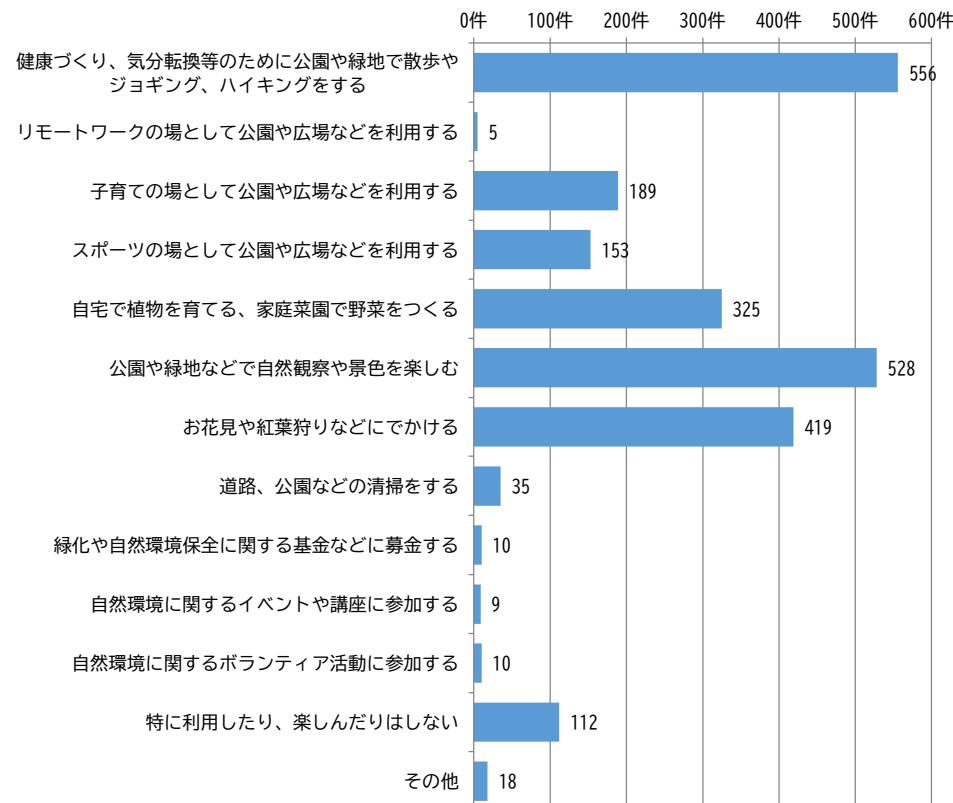
問3 青梅市の「みどり」の機能について、あなたが今後特に重要な機能は何ですか。（3つまで選択）

最も多い回答が「動植物の生息・生育の場」308件、次いで「美しく潤いのある景観の形成」291件、「雨水の吸収・洪水やがけ崩れの予防」279件でした。



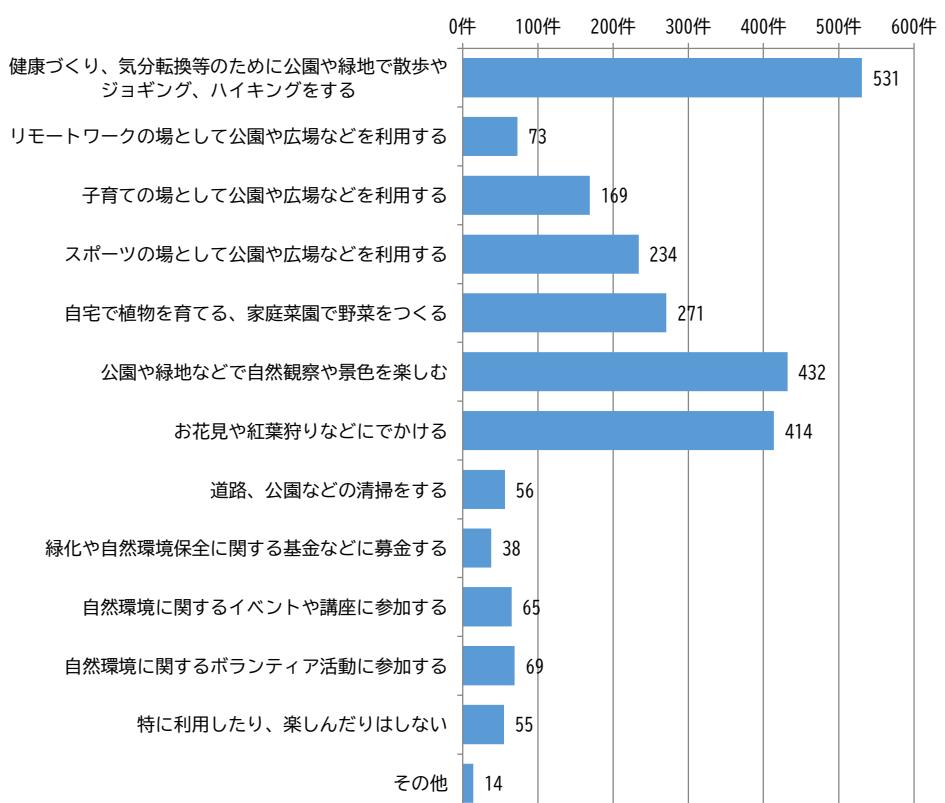
問4 あなたは日常生活で、どのように公園や緑地を利用したり、「みどり」を楽しんだりしていますか。（3つまで選択）

最も多い回答が「健康づくり、気分転換のために公園や緑地で散歩やジョギング、ハイキングをする」556件、次いで「公園や緑地などで自然観察や景色を楽しむ」528件、「お花見や紅葉狩りなどにでかける」419件でした。



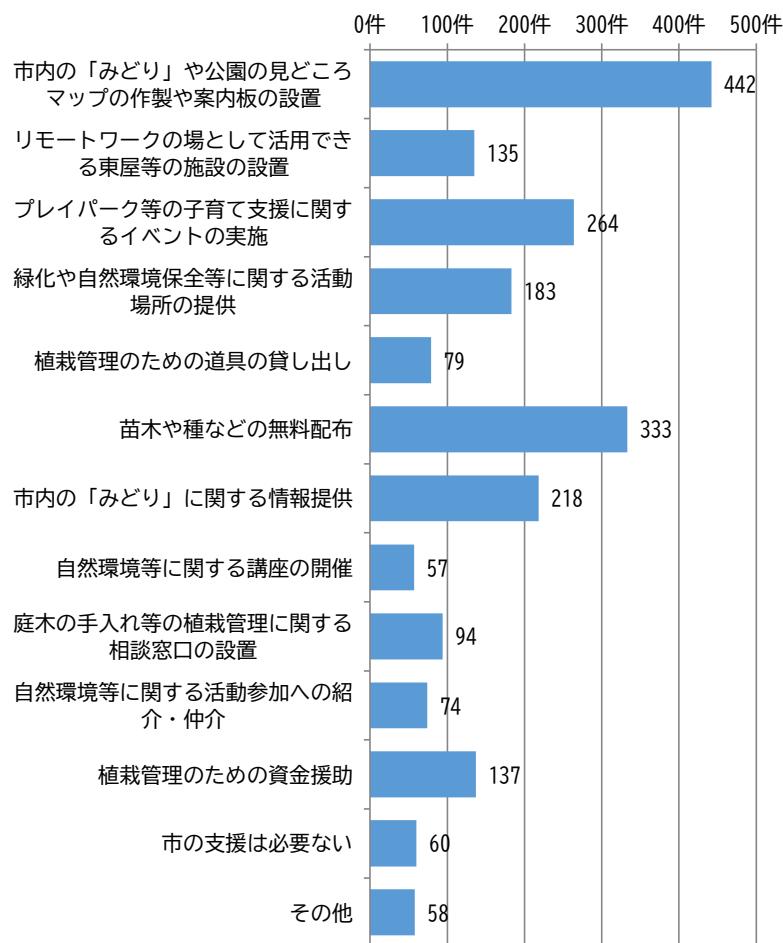
問5 今後あなたがやってみたい公園や緑地の利用方法や、「みどり」の楽しみ方は何ですか。（3つまで選択）

最も多い回答が「健康づくり、気分転換のために公園や緑地で散歩やジョギング、ハイキングをする」531件、次いで「公園や緑地などで自然観察や景色を楽しむ」432件、「お花見や紅葉狩りなどにでかける」414件でした。



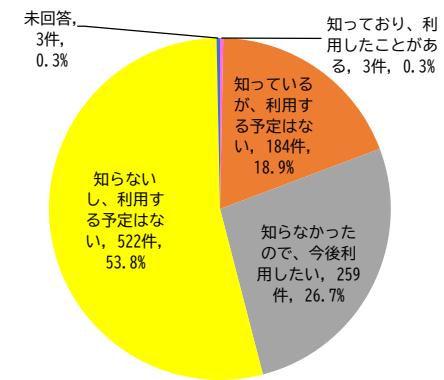
問6 あなたが公園や緑地を利用したり、「みどり」を楽しむために、市に支援してほしいことはありますか。（3つまで選択）

最も多い回答が「市内の「みどり」や公園の見どころマップの作成や案内板の設置」442件、次いで「苗木や種などの無料配布」333件、「プレイパーク等の子育て支援に関するイベントの実施」264件でした。



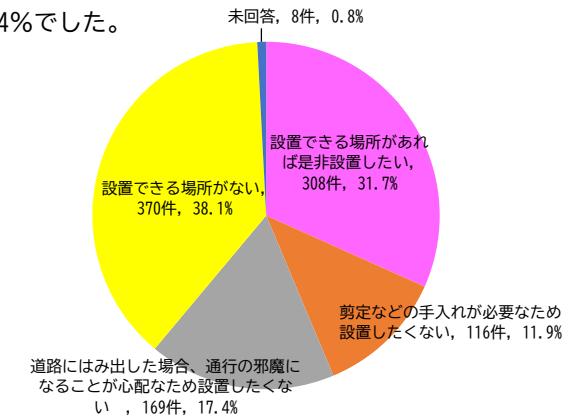
問7 青梅市では、みどり豊かな潤いのあるまちづくりを推進するため、道路に面して生け垣を設置する場合に費用の一部を補助しています。あなたはこの制度を知っていましたか。

最も多い回答が「知らないし、利用する予定はない」53.8%、次いで「知らなかつたので、今後利用したい」26.7%、「知っているが、利用する予定はない」18.9%でした。

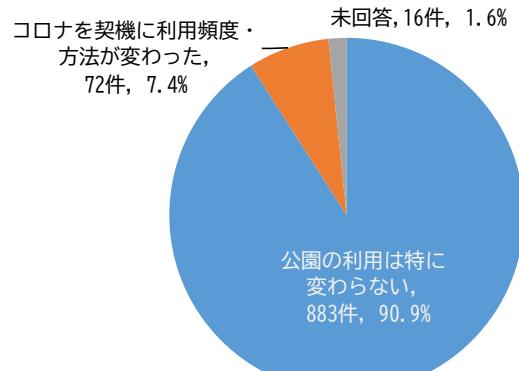


問8 道路に面した生け垣は、まちに潤いを与えるだけでなく、景観や防災面においても高い効果があります。あなたは市街地の生け垣についてどう感じていますか。

最も多い回答が「設置できる場所がない」38.1%、次いで「設置できる場所があれば是非設置したい」31.7%、「道路にはみ出した場合、通行の邪魔になることが心配なため設置したくない」17.4%でした。

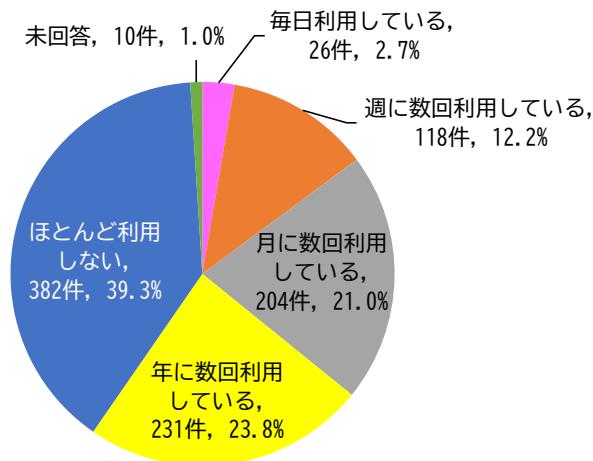


問9 新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、公園の価値が見直されています。あなたはコロナ禍前後で、公園の利用は変わりましたか。最多も多い回答が「公園の利用は特に変わらない」90.9%、次いで「コロナを契機に利用頻度・方法が変わった」7.4%でした。



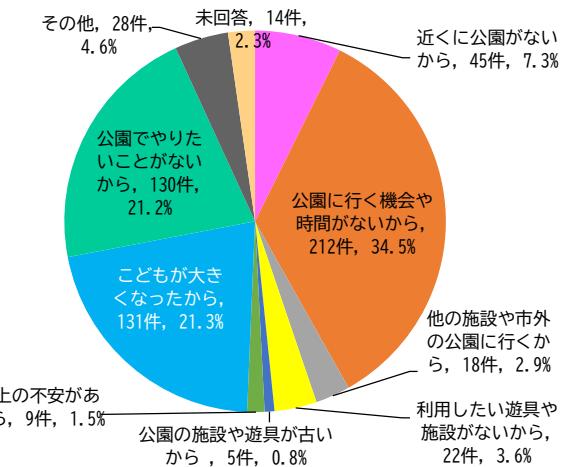
問10 青梅市には多くの公園等がありますが、あなたは日常生活で公園を利用していますか。

最多も多い回答が「ほとんど利用しない」39.3%、次いで「年に数回利用している」23.8%、「月に数回利用している」21.0%でした。



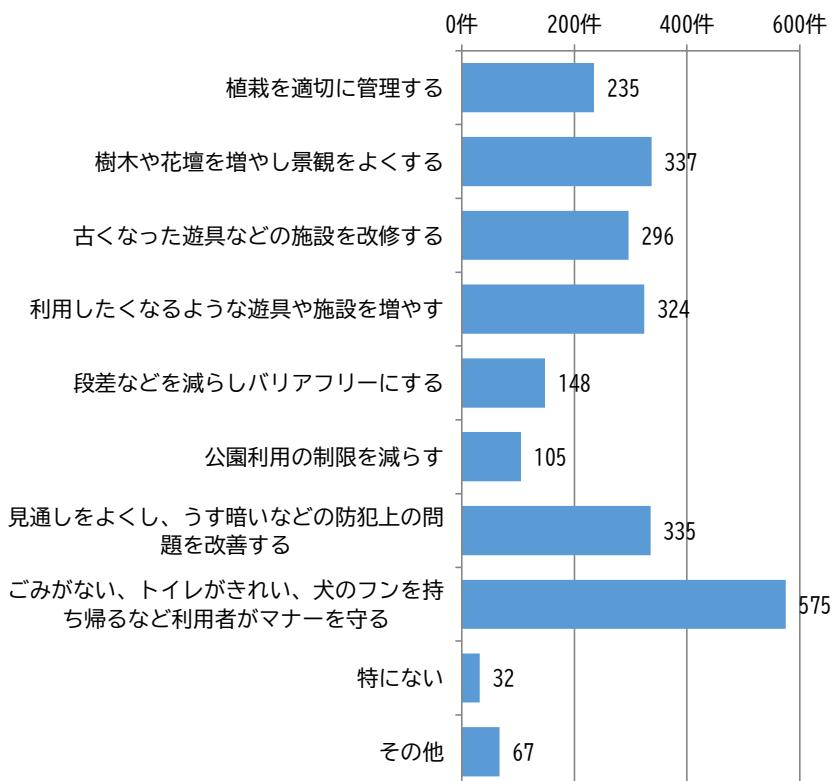
問11 問10で「年に数回利用している」、「ほとんど利用していない」とお答えの方におたずねします。あなたが公園を利用しない主な理由はなんですか。

最多も多い回答が「公園に行く機会や時間がないから」34.5%、次いで「こどもが大きくなったから」21.3%、「公園でやりたいことがないから」21.2%でした。



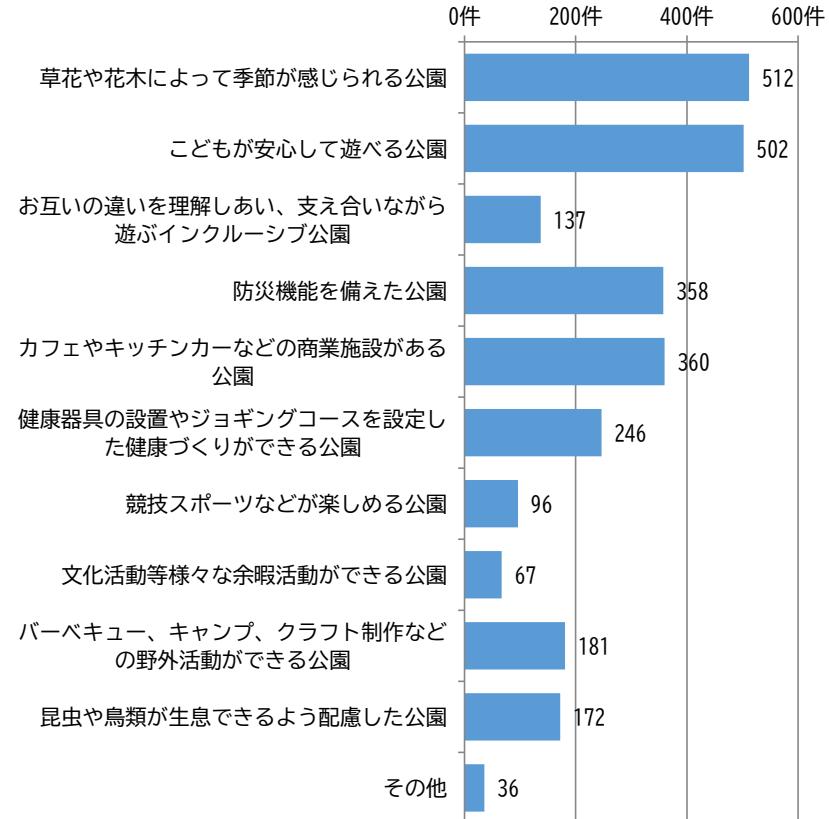
問12 「もっと利用したい」と思える公園にするには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで選択）

最も多い回答が「ごみがない、トイレがきれい、犬の粪を持ち帰るなど利用者がマナーを守る」575件、次いで「樹木や花壇を増やし景観をよくする」337件、「見通しをよくし、うす暗いなどの防犯上の問題を改善する」335件でした。

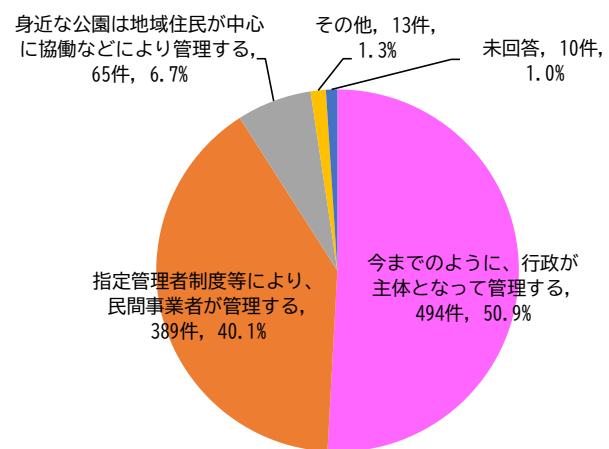


問13 公園の改修、または新たに公園をつくる場合、どのような公園ができたうよいと思いますか。（3つまで選択）

最も多い回答が「草花や花木によって季節が感じられる公園」512件、次いで「子どもが安心して遊べる公園」502件、「カフェやキッチンカーなどの商業施設がある公園」360件でした。

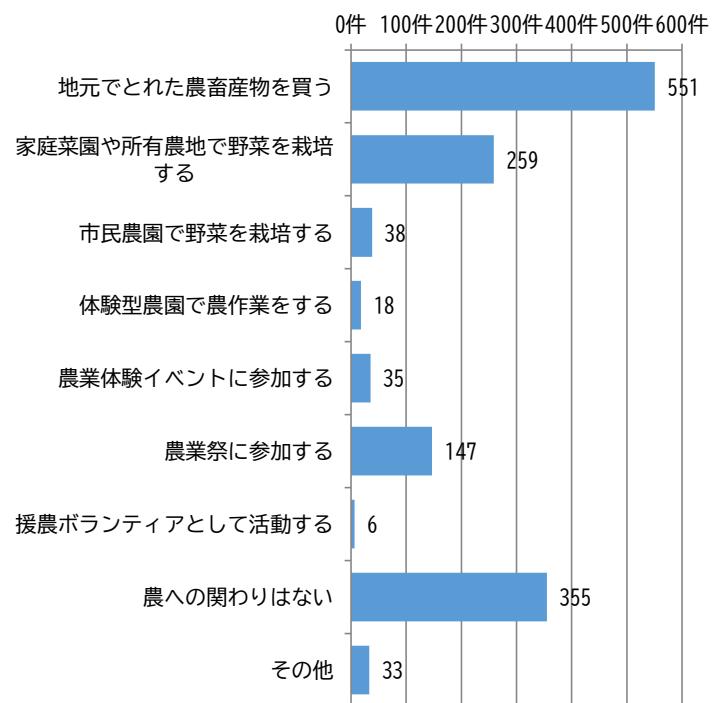


問14 現在、青梅市が管理する公園の維持・管理は行政が中心に行っています。今後の公園の管理方法としては、どのような方法がよいと思いますか。最も多い回答が「今までのよう、行政が主体となって管理する」50.9%、次いで「指定管理者制度等により、民間事業者が管理する」40.1%、「身近な公園は地域住民が中心に協働などにより管理する」6.7%でした。



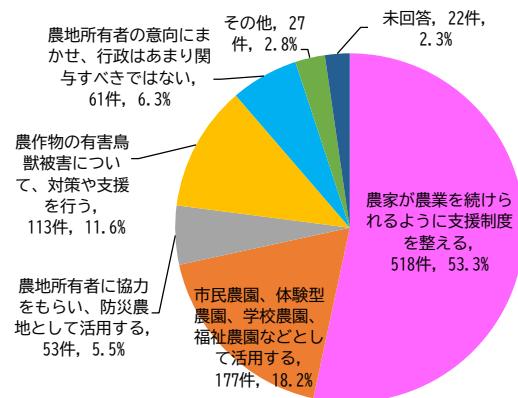
問15 青梅市には多くの農地がありますが、日常生活であなたはどのように「農」と関わっていますか。（3つまで選択）

最も多い回答が「地元でとれた農畜産物を買う」551件、次いで「農への関わりはない」355件、「家庭菜園や所有農地で野菜を栽培する」259件でした。



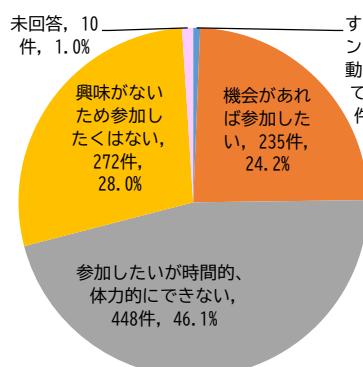
問16 青梅市の農地のあり方について、あなたは市がどのように積極的に取り組んでほしいと思いますか。

最も多い回答が「農家が農業を続けられるように支援制度を整える」53.3%、次いで「市民農園、体験型農園、学校農園、福祉農園などとして活用する」18.2%、「農作物の有害鳥獣被害について、対策や支援を行う」11.6%でした。



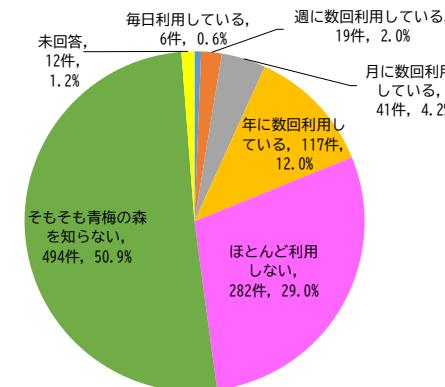
問17 青梅市では、青梅の森における活動団体等のボランティアのほか、森林ボランティアなどの育成講座の開催や緑地ボランティアによる緑地の管理等が行われています。あなたは、公園や緑地等のボランティア活動に参加したいと思いますか。

最も多い回答が「参加したいが時間的、体力的にできない」46.1%、次いで「興味がないため参加したくはない」28.0%、「機会があれば参加したい」24.2%でした。



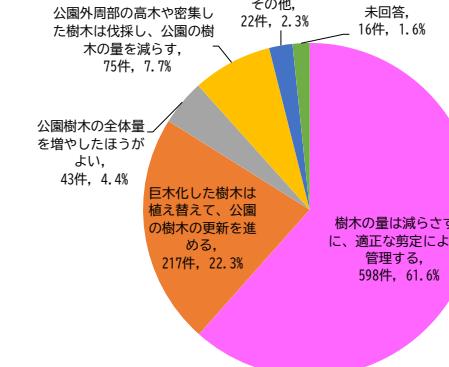
問18 青梅の森は市街地に隣接する、身近で様々な動植物に出会え、豊かな自然が残る緑地です。あなたは青梅の森を利用したことがありますか。

最も多い回答が「そもそも青梅の森を知らない」50.9%、次いで「ほとんど利用しない」29.0%、「年に数回利用している」12.0%でした。



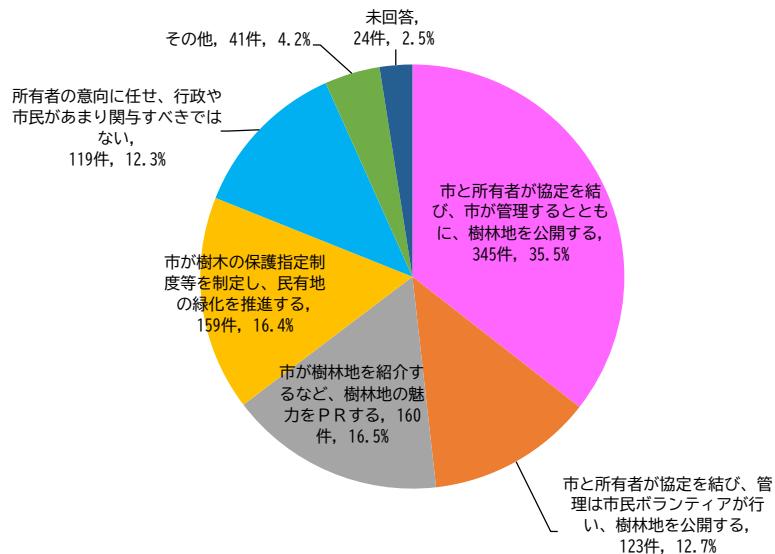
問19 公園の樹木は、適切に管理が行われないと樹木の巨木化、密集化が進み、落葉や落枝の増加、見通しが悪くなるなどの問題が発生します。今後の公園の樹木の管理方法としてあなたはどのような方法がよいと思いますか。

最も多い回答が「樹木の量は減らさずに、適正な剪定により管理する」61.6%、次いで「巨木化した樹木は植え替えて、公園の樹木の更新を進める」22.3%、「公園外周部の高木や密集した樹木は伐採し、公園の樹木の量を減らす」7.7%でした。



問 20 青梅市には個人や事業者等が所有する樹林地があります。このような民有地の樹林地を保全するための支援活動について、あなたはどのように考えますか。

最も多い回答が「市と所有者が協定を結び、市が管理するとともに、樹林地を公開する」35.5%、「市が樹林地を紹介するなど、樹林地の魅力をPRする」16.5%、「市が樹木の保護指定制度等を制定し、民有地の緑化を推進する」16.4%でした。



問 21 青梅市の「みどり」について、どのように感じていますか。満足度と重要度を教えてください。

満足度・重要度が最も高い回答が「みどりの量」でした。「身近な公園の整備・管理」では、重要度は高くなりますが、満足度はやや低くなっています。

また、満足度・重要度が最も低い回答は「自然学習・体験イベントの参加のしやすさ」でした。

